

製品名: アルファ 1 フェトプロテインウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87175**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:10-1:100,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:69 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	alpha 1 Fetoprotein
別名	AFPD; FETA; HPAFP
遺伝子 ID	174
SwissProt ID	P02771
免疫原	ヒト α 1 フェトプロテインの組換えタンパク質

背景

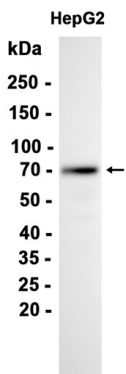
この遺伝子は、胎児期に卵黄嚢と肝臓で産生される主要な血漿タンパク質である α -フェトプロテインをコードしています。成人にお

けるα-フェトプロテインの発現は、肝細胞癌や奇形腫と関連することが多く、進行胃癌の管理において予後予測値を持っています。しかし、明らかな病理がない人でもα-フェトプロテインの遺伝的持続が見られる場合があります。このタンパク質は血清アルブミンの胎児期対応物であると考えられており、α-フェトプロテイン遺伝子とアルブミン遺伝子は4番染色体上に同じ転写方向で並んで存在します。α-フェトプロテインは、単量体だけでなく二量体や三量体でも存在し、銅、ニッケル、脂肪酸、ビリルビンと結合します。羊水中のα-フェトプロテイン濃度は、二分脊椎や無脳症のスクリーニングのための腎臓からのタンパク質喪失を測定するために使用されます。[RefSeq 提供、2019年10月]

研究分野

-

画像データ



アルファ1フェトプロテインウサギモノクローナル抗体を1:5000で使用してHepG2細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。